

瑞牆山・金峰山 雪山登山報告

(山城) 奥秩父
(コース) 雲竜溪谷
(日時) 2月11日(土)・12日(日)
(参加者) CL 佐藤、石橋、下重

2月11日 曇り 記録：下重

県営駐車場 11:00-12:00 富士見平小屋・テン場-14:30 瑞牆山山頂-16:00 富士見平小屋

テントのポールを車内に忘れてしまったため、石橋さんに取りに行ってもらった(石橋さん、大変ご迷惑をおかけしました。)

11:00頃、瑞牆山へ向けて出発する。登り始めてすぐ降りになる。道自体の雪は踏み固められ、歩きやすい。ただ右足のかかと部分が少し靴擦れをおこしていたのでやや痛む。道を進んでいくと道自体は険しくないが、アップダウンがあり景色も単調な感じ。

11:40頃、桃太郎岩に到着する。あまりの大きさに驚くと同時に、綺麗に真ん中から割れているので少し感動する。桃太郎岩をこえると、やや道が険しくなる。斜面も急になり、氷がむき出しの斜面もあった。ただ歩きにくいわけではなく、アイゼンの刃をしっかりさせればそれほど苦にならなかった。あとは頂上までひたすら雪道となる。ここも雪が踏み固められ、歩きやすいが登りがひたすら続き少しつらい。時折小休止しながら、山頂を目指す。上を見上げると、大ヤスリ岩が見える。体力より心を削る山道で、遠かった大ヤスリ岩がだんだん近づく大きく見えるのが心の支え。

桃太郎岩から2時間ほどたった、14:30頃、瑞牆山の山頂に到着した。やや曇っているが眺めが良い。金峰山がよく見える。また、目の上にあった、大ヤスリ岩は眼下に見える。山頂はきりたった崖となっており、「落ちたら死ぬな」とのん気に考える。山頂で写真を取り、20分ほど滞在した後下山する。

降りは順調かと思いきや、そうではない。佐藤さんは順調であったが、私(下重)は、前述のとおりかかと部分に靴擦れをおこしており、歩く度に痛む。登りのときは気にならなかったが、降りはかなり痛む。自然と靴擦れをおこしている右足をかばって歩くようになる。これがよくなかったのか、雪で隠れていた岩が見えず、アイゼンを引っ掛け、右足のつま先をひねる。結果、靴擦れなどどうでも良くなるほどひねった足が痛くなり、さらにペースが落ちる。しかし進む以外に選択肢はないので、痛むがとにかく降りる。頂上から2時間ほど経った16:00頃、ようやく富士見平小屋に到着した。



桃太郎岩、ぱっかーん



瑞牆山山頂

2月12日 快晴 記録：石橋

富士見平小屋 6:30－8:00 大日岩－9:00 砂払いの頭－10:00 金峰山山頂 10:30－12:50 富士見平小屋 14:00
－14:30 県営駐車場－入浴・帰葉

2日目、今日は金峰山の登頂です。早朝 5:00 に起床。S君が昨日、痛めた足が痛いので無理せず行動はしないことになった。みんなで朝食を済ませて、CLと私が出発の準備をする。テントの外に出ると空気が凜として、朝焼けに富士山が神々しく赤く染まって見えた。

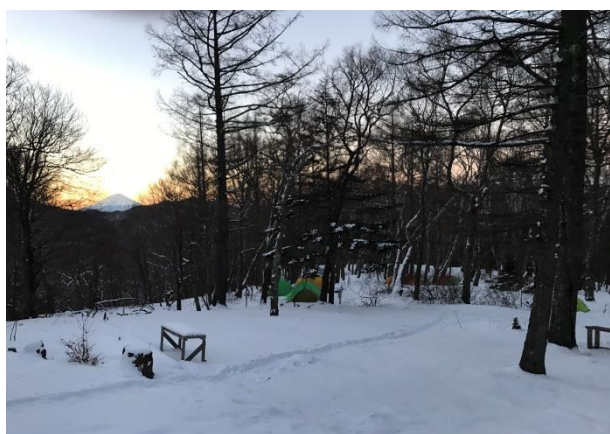
6:30 富士見平出発、雪面は靴を踏みしめるとキュッキュッという音がして、気温の低さを感じながら歩いた。砂払いの頭の森林限界までは樹林の中でアップダウンを繰り返して、徐々に高度を上げて行く。しだいに富士山の裾が広がって見え、南アルプスも樹林の間から見えてきた。

砂払いの頭でアイゼンを装着して、五丈石までトレースがしっかりついている稜線を歩く。南面の山梨県側は絶壁になっているが、千代の吹上の稜線は北面の雪をかぶったハイ松の上を、廻り目平方面から冷

たい風が吹きあがってくる。ハンガロン(毛糸の手袋)にオーバー手袋をしていたが、なぜか薬指の感覚がなかった。五丈岩よりちょっと上に金峰山山頂(2598m)があり、真っ青な空の中に、富士山、南アルプス、八ヶ岳、浅間山、甲武信岳方面の山がよく見える。山頂の岩陰でしばし休憩して下山にかかる。稜線はとても寒いので樹林の中に入れば風も避けられると思いながら下る。登るときは足元ばかり注意して登っていたので気がつかなかったが、下山では大日岩周辺には寒さで葉を縮めたシャクナゲの木々が沢山あるのに気付かされた。いつか金峰山のキバナシャクナゲを見てみたい…と思う。

富士見平の穏やかなテント場に戻り、テントの外で食事とお茶をして、一息ついてから荷物をまとめて更に駐車場まで下山してきた。長坂の『たかねの湯』で疲れを癒し帰路に着いた。

西高東低の冬型気圧配置時、比較的に晴天率が高い金峰山周辺は山頂からの展望も素晴らしく雪山登山が楽しめる山だと思いました。



富士見平に日が昇る



砂払いの頭から富士山



ここより上は森林限界につき装備チェック



ラスト5メートル



山頂の五丈石はでかい



金峰山山頂から八ヶ岳バックに1枚



富士見平に戻ってお茶会、お疲れ様でした！